

モバイルスタックテストに関する追加質問の回答

【辻座長】

○国際ローミングに係る費用

Q1. 国際ローミングを基本料金内で提供するプランについて、国際ローミングに係る費用の計上についてどのように考えるか。

A. まず、当社は MVNO 向けに国際ローミングによるデータ通信機能を提供していないため、国際ローミングに係る検討範囲は音声通話機能に絞られると考えます。

より適正な検証方法の観点から、仮に国際ローミングに係る費用を考慮する場合、「①国際ローミングに係る費用を計上するのではなく、利用者料金収入に含まれる国際ローミングによる音声通話料金（国際音声通話料金）を除外する検証方法」、および「②国際ローミングに係る費用および音声通話料金を考慮（計上）する方法」の二つが考えられます。社内料金システムを確認した結果、音声通話料金に含まれる国際音声通話の料金を除外する場合にはシステム改修が必要であることが判明しているため、弊社としては、②の方法で対応することを考えており、実現可否については現在確認中となります。

【佐藤構成員】

○接続料の換算

Q2. MVNO 委員会が提案したデータ接続料の換算方法についてどう考えるか。他のより合理的な換算方式があるか。

A. 当社案および MVNO 委員会から提案された換算方法の計算式は以下。

KDDI 案	$\text{データ単価[円/GB]} = \frac{\text{接続料[円/Mbps]} \div \text{最繁時トラフィック集中度から算出した単位帯域当たりの月間総データ通信量[GB/Mbps]}}{\text{データ単価[円/GB]}}$
MVNO 委員会案	$\text{接続料[円/Mbps]} \div (\text{月間総データ通信量[GB]} \div \text{最繁時占有帯域[Mbps]})$

当社案では「最繁時トラフィック集中度(※)」を用いて換算していますが、両案ともに接続料[円/Mbps]から最繁時の占有帯域（単位帯域当たりの最繁時トラフィック）を乗算し月間総データ通信量で除算し、GB 単価の接続料を算出するという考え方は同じであり、両案どちらも合理的な換算方法であると考えます。

(※) 月間の最繁時トラフィック集中度 = 「日内(24h)の最繁時通信量[GB/Bh] ÷ 日内総データ通信量[GB]」の月間平均値

Q3. 音声接続（プレフィックス自動付与）と音声卸は契約社数においてどのような割合で利用されているのか。

A. LTE・5G NSA にて L2 接続している MVNO 事業者の内、音声接続と音声卸の契約社数比率は ● : ● となります。(※2022年3月24日時点)

赤枠は構成員限り

○割引の反映方法

Q4. 家族割等の割引について具体的にどのような計算方法が適当であるか。事務局が示した算定方法（割引が適用される回線数と適用されていない回線数を加重平均して、1 ユーザ当たりの割引相当額を算出）のメリット、デメリットを示し、貴社で考えている具体的な計算方法を提案してください。

A.家族割等の割引方法として、事務局提示の算定方法（割引適用の回線数により加重平均する方法）については、想定されるデメリットは特に無く、当該算定方法は妥当であると考えます。

Q5. 固定通信とのセット割を反映させる場合、具体的にどのような計算方法が考えられるか。

Q6. 非通信サービス（電気等）とのセット割のプランについて、同等の非通信サービスと通信を個別に契約した場合の料金とセットで契約した場合の料金はどうなっているか。また、割引の反映にあたり具体的にどのような計算方法が考えられるか。

A.当社では例えば、以下のようなセット割のプランを提供しております。

セット割引名称	セット対象サービス	割引の考え方
スマートバリュー	モバイル通信・固定通信	モバイル通信の料金を割引
東電ガス for au	モバイル通信・ガス	ガス側の料金を割引
東電ガス for au (トリプルセットポイントで割引)	モバイル通信・ガス・電気	当社 EC 事業サービス「ponta」へのポイント還元
使い放題 MAX 5G ALLSTAR パック	モバイル通信・配信コンテンツ	モバイル通信の料金を割引

このようにセット割は様々な料金体系であり、一律で共通的な考え方を適用することは困難であるため、拙速に結論を導くことなく、慎重な検討が必要であると考えます。

以 上